

# 山梨県農政部試験研究機関（水産技術センター）機関評価委員会

とりまとめ：高橋一孝

## 1 評価委員

- 委員長 岩田智也 学識経験者  
山梨大学工学部循環システム工学科 准教授
- 委員 羽田金祝 生産者（漁業）  
山梨県漁業協同組合連合会 副会長理事
- 委員 津野正康 生産者（養殖）  
山梨県養殖漁業協同組合 代表理事組合長

## 2 評価委員会

平成 24 年 8 月 28 日（火） 水産技術センター本所

組織管理	4 点 少ない人員のなか良い事業成果が得られている。技能員の補充と臨時職員の安定的な雇用体制の維持が望まれる。
事業内容及び予算配分	4 点 ルネサンス大綱と試験研究推進構想に基づき、適切に事業が行われている。県内の観光漁業振興のためにも、魚苗生産事業費と試験研究費の拡充・維持が必要である。
施設の整備状況	5 点 老朽化した施設を有効活用している。破損した備品については、試験研究の遂行のためにも補充が必要である。
研究事業の成果	5 点 他県に先駆けた先進的な研究事業が行われている。また、各漁協からの要望が十分に取り入れられた試験研究が行われていると評価出来る。
普及啓発活動	3 点 良い成果が得られているものの、その普及啓発は限定的である。関係機関以外にもホームページやマスコミ等を活用しながら、県内外に成果の普及・啓発に努めて頂きたい。
総合評価	4 点 少人数ながら良い試験研究成果が得られている。県内漁協からの信頼も厚く、さらなる連携と事業の進展に期待する。また、観光漁業の振興に向けたさらなる普及・啓発を行って頂きたい。

### 《センターとしての対応》

○総合的には、公的機関として高い評価が得られたものと判断している。引き続き県民の要望に応えられるよう職員一丸となって事業に取り組みたい。なお、指摘のあった普及啓発活動については、広域的見地に立ちながら積極的に行いたい。